

市政に関する一般質問 3月会議は16名の議員が質問

コロナ禍における中小企業者及び農業従事者支援について

中村 潤一 議員

問 中小企業者等への支援について伺います。

答 中小企業者等には、経営支援給付金を給付するとともに、中小企業資金融資貸付金、利子補給金及び信用保証料の補填を行い、融資を受けやすい環境をつくり、利子支払いの負担を軽減しました。

問 プレミアム商品券事業とキャッシュレス決済ポイント還元事業の経済効果について伺います。

答 令和3年度及び4年度に実施したプレミアム商品券事業は、2億4千500万円超、令和4年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、6億6千万円超の経済効果があつたと考えられます。

問 令和4年度の2度目の地域活性化事業として、プレミアム商品券でなくキャッシュレス決済ポイント還元事業を

実施する理由を伺います。

答 キャッシュレス決済への理解度と利用状況が大きく上昇し、利用店舗数も多く、年度内に事業を完了できることから選択しました。今後は、課題等を踏まえ、地域経済の活性化を図るため国・県の動向を注視し、中小企業の支援策を講じていきます。

高齢者の福祉サービスについて

森谷 宏 議員

問 介護予防の観点からどのように市民をサポートしていくのか市の取組を伺います。

答 65歳以上を対象とし、関節の痛みを和らげる柔体操や健康増進体操教室、自宅でできる脳トレ、栄養や口腔の改善について学習するちよ筋教室、元氣アップ講座などを実施しています。専門職による

健康教育も実施し、さらに鎌ヶ谷体操指導員による地域への普及にも取り組んでいます。講座の参加者には運動補助具であるゴムバンドを配布し、フレイル予防に努めています。また、これらの取組は、市広報や市ホームページに掲載するほか各公共施設などにチラシを配置し、周知しています。

問 昨年12月に生徒指導要領が12年ぶりに改訂されましたが、その概要を伺います。

答 多様化が進む子どもたちへの指導の基本的な考え方や取組の方向性を再整理し、課題予防、早期発見といった課題対応の側面と、児童生徒の発達を支えるといった側面に着目し、その指導のあり方や考え方が示されています。

問 自転車通学について、学校で聞き取りを行った上で個別の事情を勘案し判断しており、髪型に関する規則は各学校で見直しや検討を始めています。

問 多様な性への理解と配慮

問 次期計画の第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定後の同計画及び高齢者福祉サービスの周知について、どのようにしていくのか伺います。

答 市広報や市ホームページで周知するほか、公民館や自治会館などで計画書を閲覧できるように配架するとともに老人クラブ等の団体の協力を得て、必要な情報の提供や福祉サービスの状況を周知していきます。

問 今後の中学校の制服のあり方について市の見解を伺います。

答 近隣自治体では、制服の一部見直しを進める学校もあることから、市としても制服の変更に向けて校長会が主体となり、令和5年度には鎌ヶ谷市の制服に関する検討委員会を設置し、小中学生、保護者、学校間で適切な議論ができるよう連携を図ってまいります。



配置等のイメージ

市制記念公園水遊び場の整備について

小易 和彦 議員

問 水遊び場の概要について伺います。

答 現在市内の公園には水遊びができる公園がないことから、子どもたちの遊び場として非常に人気のある市制記念公園に、子育てしやすいまちづくりの一環として水遊びができる施設を新設し、子どもたちが遊べる環境の拡充を図るものです。面積約200㎡、足元から吹き上がる噴水は15本で、主に未就学児等を対象としていることからパーゴラや日陰となる樹木を設置し、ベンチを4基増設し、保護者の見守りができるようにします。地面から吹き上がる小さな噴水で中央部に水がたまり、ミニじゃぶじゃぶ



配置等のイメージ

鎌ヶ谷市に於ける児童虐待の実態と今後の対応策について

津久井 清氏 議員

問 市内での児童虐待の相談件数は、平成29年度192件、令和3年度22件と増加しています。児童虐待の状況を伺います。

答 加害者は主に実母が50%、実父が46%。被害児童は未就学児が47%、小学生が39%となつています。

問 平成31年1月に野田市で起こった虐待死事件は全国的に大きな事件となりました。この事件から得た教訓を伺います。

答 悲惨な事例は繰り返されるべきではありません。虐待の発生を防ぐためには、虐待を受け

新型コロナウイルスの2類相当から5類への変更に伴う子どもたちのケアについて

河内 一朗 議員

問 卒業式におけるマスク着用の指針について伺います。

答 卒業式には保護者宛てに「卒業式、卒業式から始める表情が見える日常へ」という文部科学省のガイドラインとは異なる内容が市長、教育長の連名で発信されました。市の対応について市長の考えを伺います。

答 本市では保護者宛てに「卒業式、卒業式から始める表情が見える日常へ」という文部科学省のガイドラインとは異なる内容が市長、教育長の連名で発信されました。市の対応について市長の考えを伺います。

市道20号線(くぬぎ山自衛隊官舎前通り)の拡幅整備について

土屋 裕彦 議員

問 本事業の課題について伺います。

答 整備に必要な防衛省所管の用地の取得と財務省による旧自衛隊官舎の取壊し工事を円滑に実施することが、道路整備を進めるうえでの課題となつています。

問 1つ目の課題である防衛省所管の用地取得の進捗状況を伺います。

答 令和4年8月3日付で鎌ヶ谷市、防衛省北関東防衛局及び陸上自衛隊需品学校の3者において、協定書を締結し用地取得について合意に至つたことから、今年度内に防衛省から財務省への所管替えが完了する見込みです。

新型コロナウイルス感染症について

松原 美子 議員

問 コロナ関連の手当などを継続するの伺います。

答 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金や雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の特別措置などは、令和5年3月31日までとなっております。それ以降については、国からは、感染状況や雇用情勢を踏まえ、国から通知されることとなっております。

インターネット議会中継を配信しています

市議会では開かれた議会を目指し、市ホームページで、本会議の様を生中継及び録画中継により配信しています。市議会のホームページアドレス及び二次元コードは1面に掲載しています。



文部科学省からの通知を基に、卒業式におけるマスク着用の指針を定めました。様々な意見があることは承知していますが、マスクの着用については個人の判断に任せるとを基本とし、感染防止のために必要な場面ではマスクの着用を求めるという国の基本的な考え方に対して、私個人としても同様な思いを持っており、市の卒業式における対応は国の考え方にも則したものと考えています。

完了する予定です。財務省からの用地取得については、国の補正予算を活用し、令和5年度早い時期に行う予定です。

問 2つ目の課題である旧自衛隊官舎の取壊しの状況を伺います。

答 令和5年2月末現在、取壊し工事の設計が完了し、令和5年度早い時期に取壊し工事の発注を行う予定であると財務省から伺っています。